

鹿児島港に係る計画書(目論見)の概要

応募者	鹿児島県、ロイヤル・カリビアン・クルーズ(RCL)
目標とする国際クルーズ拠点の姿	鹿児島と世界をつなぐクルーズ拠点『Kagoshima Port』 ・鹿児島の優位性を活用した東アジアクルーズの拠点化 ・離島の自然等を活かした世界遺産クルーズ ・フライ(レール) & クルーズ
寄港回数目標	運用開始年(H34年):50回、目標年(H44年):130回 (RCLの目標)

国際クルーズ拠点を構成する施設

◆岸壁(既設・計画)

- ①14万トン級対応(既設)※16万トン級対応のため県が改良中
- ②22万トン級対応(計画)

◆旅客ターミナル(計画) <RCL>

CIQを含む旅客ターミナルビル及び屋根付き通路を整備

◆駐車場 <県>

中央港区マリンポートかごしま

岸壁等の利用に係る考え方

新たに計画する岸壁(岸壁②)を、RCLが優先的に利用を予定。

- ・優先的な利用を行う期間:当初20年間(最大40年間まで)
- ・優先的な利用を行う日数:年間最大150日間

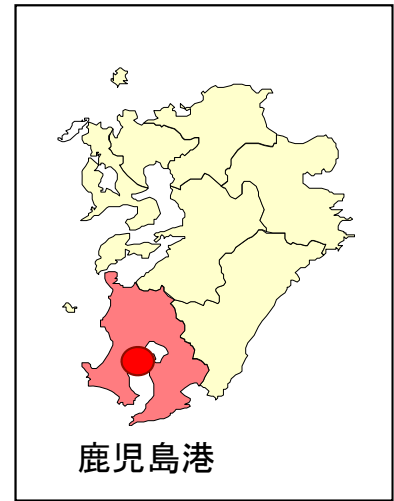


鹿児島港中央港区マリンポートかごしまの位置等



【本港区】
 ・鹿児島中心市街地と隣接し、桜島フェリー、種子島・屋久島航路、三島・十島航路、奄美・喜界航路の発着場
 ・北ふ頭には、3万トン級のクルーズ船が寄港可能（6万トン級対応に向け改良中）

【中央港区】
 クルーズ船が寄港する交流拠点



鹿児島港クルーズ船寄港数

